



# 声のラン

## 声

最近、市内でレジ袋の廃止などごみを減らすさまざまな取組が行われるようになりました。ごみの減量は市民全体に関わる重要な問題だと思います。

そこで、千歳のごみ埋立処分場が満杯になる時期や今後の処分場の建設予定地を教えてください。

## 答

美々地区にある環境センターには、現在3か所の埋立処分場の建設予定地が1か所あります。

第1埋立処分場は、昭和59年から埋め立てを始め、おもに産業廃棄物を埋立処分しています。この処分場は、平成26年ころに埋め立てを終了する見込みです。

第2埋立処分場は、平成7年から埋め立てを始め、おもに一般廃棄物（家庭や事業所のごみ）を埋立処分していましたが、平成18年に埋め立てを終了しています。

第3埋立処分場は、平成17年から埋め立てを始めました。この埋立処分場は、平成43年ころの埋め立て終了を予定しています。今後、20年以上は使用できる見込みです。

4か所目の埋立処分場の建設用地は、すでに環境センター敷地内に確保しています。しかしこの予定地は、広い範囲にわたって地盤が軟弱であるなどの問題があります。

このため、つぎの埋立処分場の予定地は、建設までに十分に検討して最終決定することになっています。その結果に

## ごみの埋立処分場はいつまで使えるの？

《50歳代男性》

については、早めに市民の皆さんにお知らせします。

埋立処分場の整備には多額の費用がかかります。そのため、現在使用している埋立処分場をできるだけ延命させることが重要です。

市の「一般廃棄物処理基本計画」では、ごみの埋立処分量を、平成19年度実績の年間1万8千トンから年々減量し、平成27年度では年間1万700トン、平成32年度では年間9千500トンとする数値目標を定めています。

この目標達成のためには、市民・事業者・行政が協働して、ごみの減量やリサイクル率の向上の取組などをこれまで以上に進める必要があります。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

【廃棄物管理課建設計画係】  
☎(40)6969



ごみの埋め立てが進む処分場。毎日、たくさんのごみが運び込まれます。

### 【ワンポイントメモ】

埋立処分場内の廃棄物に触れた雨水は、処理施設に集められ、一定の水質に浄化してから公共下水道へ放流しています。この処理施設は、ごみの埋め立てが終了し雨水が河川に放流できる安定した水質になるまで稼働します。

### 案内

「声のラン」では、おもに「市長への手紙・ポスト」や「広報広聴モニター」の声と、その答えをご紹介します。そのほか皆さんからの一般的な質問などもご紹介しますので、普段から疑問に思っていることなどを、お手紙などでお寄せください。ただし、ほかの市民にも参考になる内容を採用させていただくため、個人的なことなどすべてを掲載することはできません。また、質問の内容を確認する必要上、お手紙には必ず連絡先と名前をご記入ください。【〒066-8636 / 千歳市東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課 宛】